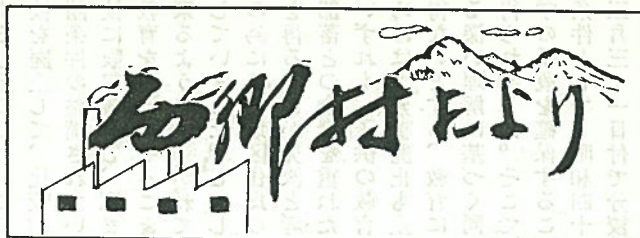


西郷村の人口及世帯数  
(46.2.1現在)

世帯数	2,191
人口	10,445
男	女
5,155	5,290



発行日 昭和46年2月25日

発行所  
西郷村役場  
(電話磐城熊倉)  
1番・2番・7番  
編集発行  
企画課

印刷所  
ワタベ印刷所

# 分校よさようなら

△写真真△

上は…真名子分校  
下は…一の又分校



## 分校の廃止統合など

### 第一回臨時議会で議決

昭和四十六年第一回村議会臨時会が、去る二月二日開かれました。

議案は、羽太小学校真名子分校と小田倉小学校一の又分校の二分校を三月三十一日限りで廃止し、四月一日から本校に統合する件。

それにとりまう、西郷村立小学校及び中学校条例の一部改正が一つ。もう一つは、一千万円以上の契約については、議会の議決を必要とするという条例に基づいて、村道原中―四ツ門線の道路改良工事請負契約が議決されました。

その詳細については、次頁にお知らせします。

# 分校の統合について

教育長 小針 茂 二

本村には、分校として、羽太小学校真名子分校と小田倉小学校一の又分校が今なお残っておりますが、村教育委員会では、年々減少する児童のため、この際分校を廃止して、比較的教育諸条件の整備されている本校に吸収統合し、恵まれた教育を受けさせることが出来るようにと、かねて計画してまいりました。しかし、その為には、地区住民の了解を得ることが先決と考え、部落との会合を重ねた結果いづれも、子供の教育のためには、分校廃止も止むを得ないとする、教育に対する深い理解に基づく同意が得られました。そこで、通学の手段を確保することを条件として、昭和四十六年三月三十一日付で分校を廃止し、四月一日付で本校に統合ということに合議いたしました。

このことを去る二月二日の村議会に提案し、承認を受けましたので、真名子分校、一の又分校の廃止と本校統合は正式に決定したわけでありす。

## ●真名子分校 児童数の推移

学年別年度	1年	2年	3年	4年	計
昭和45年度	0	3	2	6	11
昭和46年度	1	0	3	2	6
昭和47年度	1	1	0	3	5
昭和48年度	0	1	1	0	2
昭和49年度	1	0	1	1	3
昭和50年度	0	1	0	1	2

## ●一の又分校 児童数の推移

学年別年度	1年	2年	3年	4年	計
昭和45年度	6	0	8	7	21
昭和46年度	4	6	0	8	18
昭和47年度	2	4	6	0	12
昭和48年度	1	2	4	6	13
昭和49年度	4	1	2	4	11
昭和50年度	3	4	1	2	10

この表で見られる児童数の減少傾向は、両分校に限

られた現象ではありませぬ。本村の小・中学校すべてこのような傾向を示している状態でありす。このことは、本村教育の将来を展望するとき、何か示唆を含んではいはしないでしょうか。いづれにせよ、今回の分校廃止の措置は、後進地域よりの脱却を意味し、本村教育の一步前進を物語るものとして、歓迎されることだと思ひます。

終わりに、地域住民に親しまれ、愛されて来た両分校に対し「分校の歩み」を記して、餞けとするとともに、有形無形に、両分校を支えて下さった方々に、心から感謝いたしたいと存じます。

## ●真名子分校の歴史

- ・明治三十九年 西郷第四尋常小学校に真名子季節分教場開設
- ・明治四十二年 西郷第四尋常小学校真名子分教場設置
- ・昭和二十三年 真名子分校父母と教師の会結成
- ・昭和二十四年 増改築
- ・昭和二十四年 季節学級(五―六年生)増設

- ・昭和二十六年十二月 僻地教育研究会開催
- ・昭和三十五年十二月 補食給食開始
- ・昭和四十三年十月 山村教育研究会開催
- ・昭和四十四年十一月 真名子分校PTA県表彰

## ●一の又分校の歴史

- ・昭和二十一年十一月 仮校舎にて授業開始、一―三年生一学級二十三人
- ・昭和二十三年四月 学級増加、一―四年二学級六十二人

- ・昭和二十三年七月 校舎改築
- ・昭和二十九年七月 給食室増築
- ・昭和三十一年四月 学級増加、一―四年四学級八十八人
- ・昭和三十二年五月 一教室増築職員室落成
- ・昭和三十九年四月 四学級五十六人
- ・昭和四十五年四月 二学級二十一人

以上

# 髪 結 い

## 民俗資料報告から(7)

何かことがあると女は髪を結った。母、姉、近所の人、仲間などで、お互に結いあいをした。

① いちちょうがえし 若い人が結う。長いちょうより鬘を小さく結う。結えるほど髪が長ければ四才ぐらいから結ってもよかつた。

② 長いちょう 若い人。後首で髪の根をしぼって上にあげ、鬘を大きくする。いちちょうがえしより鬘を大きくするので長いちょうという。

③ 桃 割

鬘を後上頭部に高くあげ、鬘を開いて結い、カセをつける。後頭部にしぼって高く結いあげたので、こわれやすかつた。

④ 鳥 田

嫁入りの時に結う。大正の初め頃から西郷では、はやりだした。

⑤ か わら

古く嫁入りのときに結つた。ひと鬘にしてカヤをつけた。

⑥ 丸 まげ

嫁になった人が結う。嫁になつてからは、いろ／＼の髪型には結えなかつた。

⑦ 葬式まげ

小さな島田に結う。年よりは、ひつつめた一束に

し、若い人は前髪をふくらませて結う。頭頂部に細いノベ紙をつけた。葬式まげは、死人に近い人だけが結つた。

⑧ ふだんは、年増の人は、後部にひとまとめにしてピンをさしていた。年老いた人は後首のところにとつて出して結う。

眉をおとす風習は明治三十年頃まであつた。生まれてくる子に眉毛をみせるなといつて、お産をする前に剃り落した。オハグロは大正の初めまでつけていた。ヨツツミの木にオハグロの粉をつけて歯を染めた。染め方は嫁になつてから姑に教えてもらつた。

女は何かことがあると、家事のあい間に髪を結つたり、オハグロを染めたりしなければならぬので、それは、とつてもいそかしいものだった。山にあるヤシヤブシヤクの実を小さな甕に入れてイルリの中に入れておいてオハグロの染料にした。ヤシヤブシヤクの実を採つて白河に売りに行った人もあつた。



# 原中四ツ門線など

## 道路橋梁工事始まる

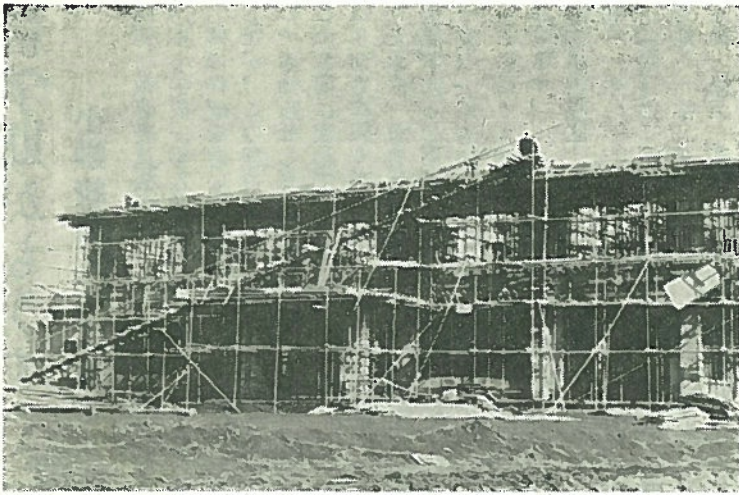
広城市町村圏道路整備事業として、かねて計画していた、村道原中四ツ門線の道路改良工事がいよいよ始まった。

区間は別図のとおり、三区間に分割、総延長二千四百二十七メートルが、四十五年分度で、指名競争入札の結果、三業者が請負い施工することになった。

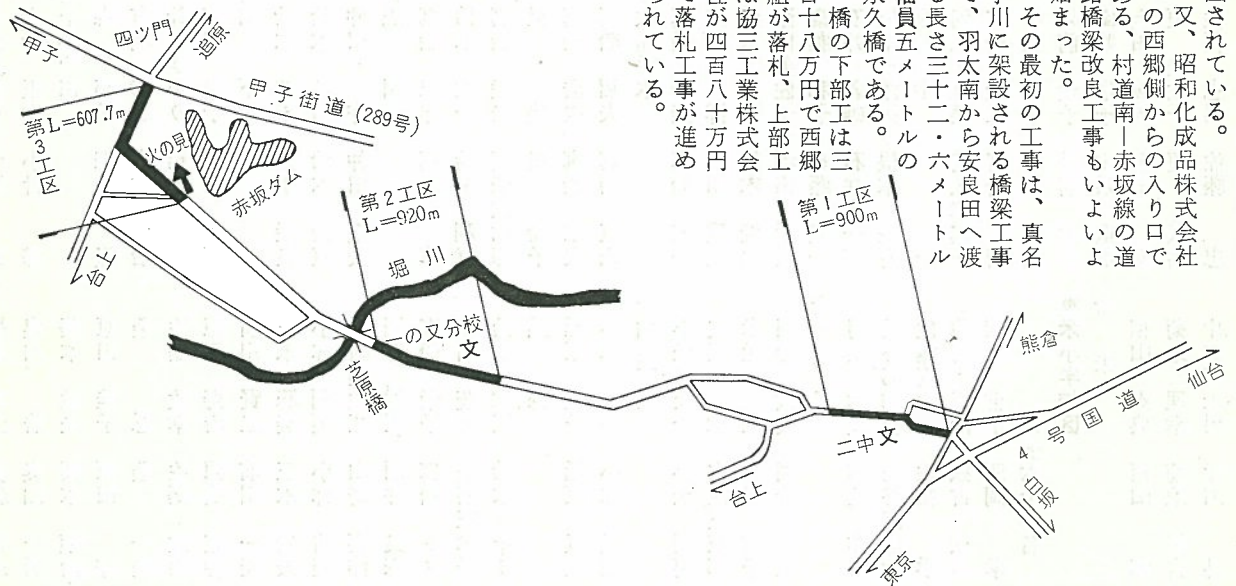
第一工区は、芳賀医院前の起点から九百メートルで

山崎組に一千二百二十四万六千円で落札、第二工区は一の又の分校、駐在所の九百二十メートルで、一千二百十五万円で、大高工務所に落札、第三工区は、芝原消防詰所から四ツ門までの六百七・七メートルで、七百二十万円で、佐久間組に落札、工事が始められた。道路の平均幅員は六・五メートルである。

改良工事は三年継続で進



建設進む生活改善センター  
(役場新庁舎予定地横)



められ、引き続き舗装が計画されている。

又、昭和化成品株式会社への西郷側からの入り口である、村道南一赤坂線の道路橋梁改良工事もいよいよ始まった。

その最初の工事は、真名子川に架設される橋梁工事で、羽太南から安良田へ渡る長さ三十二・六メートル幅員五メートルの永久橋である。

橋の下部工は三百十八万円で西郷組が落札、上部工は協三工業株式会社社が四百八十万円で落札工事が進められている。

# 川谷婦人学級終る

## 家庭の生活設計を主題に

二年継続して開設された文部省委嘱川谷婦人学級が、二月十日の「日本の川谷」という村長の講話を最後として閉講しました。

この学級には、国から年五万円の補助金の交付がありました。その目的は、婦人の学習の機会を拡大し、その内容を充実させ、このような学習が他へも波及することをねらったものです。

川谷婦人学級は、昨年度、今年度とも「家庭の生活設計に関する学習」を主題として学習し、併せて近代社会における婦人の地位の向上を問題としました。その学習内容は次のとおりです。

- ・生活記録の学習
- ・生活合理化と余暇の利用
- ・新しい家族の人間関係
- ・老後の生活設計
- ・物価問題と家庭経済
- ・健康と食物
- ・茶の間の法律
- ・郷土の歴史
- ・農業経営の合理化
- ・食生活の改善
- ・農産物の消費
- ・社会人としての婦人

計 四十八時間

今日、ウーマン・リブ（婦人解放）という言葉があちこちで聞かれ、又その運動も活発に行なわれております。私達は古いからに閉ぢこもることなく、また極端な行き過ぎに走ることもなく、中正健全な婦人のあり方について、もっともっと学ばねばなりません。この二年間の学習が、今直ちに目に見えて役立つことは少ないかも知れませんが、学習とは本来そのようなものです。「ローマは一日にして成らず」と申します。かさ／＼に乾燥しがちな現代生活の中で、一輪の花が、大きなうるおいになるように一人の婦人のかそやかな目覚めが、目に見えなくとも、大きな働きをしていくと思えます。一人の婦人としてまた家庭人として、この成果が、地域社会に大きな影響を及ぼし、やがては他の地区の婦人団体のみならずにも波及していくことを祈ってやみません。

# 新学期がもうすぐ

## 小学校新入生名簿できる

西郷村教育委員会では、  
村内各小学校一年入学児童  
の名簿の作成を急いでおり  
ましたが、この程でしまし  
たのでお知らせします。

富永富士子 富永福太郎  
小島 功 小島 富雄  
秋山 昭二 秋山 登  
秋山 克治 秋山 栄  
菊地 清美 菊地 清

### ☆熊倉小学校区

鈴木 聖子 鈴木 衆雄  
池田 美紀 池田 亮一  
芳賀 正美 芳賀 和義  
鈴木美津子 鈴木 伝蔵  
仁平征一郎 仁平伝之助  
山崎 文雄 山崎 武雄  
須藤 忠 須藤 忠男  
佐藤 陽子 佐藤 嘉栄  
佐藤 礼子 佐藤 信敏  
鈴木 誠司 鈴木 忠良

### ☆大清水

真船 春美 真船 宏一  
内山 博 内山 重丸  
鈴木 礼子 鈴木 俊次  
添田美佐子 添田 栄次  
斎藤 和子 斎藤 俊一  
石井 義雄 石井庫一郎  
根本三津男 根本 長寿

### ☆伯母沢

小松はな子 小松 辰男  
穴沢 稔 穴沢正三郎  
米元 仁 米元 道子  
国分 武夫 国分 熊三

### ☆羽太小学校区

渡辺 典子 渡辺 勝弘  
緑川 順子 緑川 次敏  
鈴木 正昭 鈴木 昭男  
青山 恵子 青山 勝英  
近藤 幸男 近藤伊之吉  
海老名淳子 海老名孝夫  
緑川美重子 緑川 忠夫

### ☆白河第二小学校区

五十嵐千春 五十嵐道清  
益子 晴美 益子 恒夫  
桜井 正 桜井 実  
成井 尚子 成井 澄子  
古川 浩 古川 義二  
石田 勝美 石田 吉昭  
佐川 英雄 佐川 照一  
小林 克巳 小林 玄保  
椋尾 美和 椋尾 光  
高橋三三代 高橋 三郎  
円谷 浩之 円谷 喜義  
増田 明子 増田 正

この名簿に洩れている方  
又は名前等に誤りがありま  
したときは、教育委員会ま  
で至急お知らせ下さい。  
今度の一年生は総数現在  
のところ百五十四名となっ  
ております。

### ●熊倉小学校区

鈴木 聖子 鈴木 衆雄  
池田 美紀 池田 亮一  
芳賀 正美 芳賀 和義  
鈴木美津子 鈴木 伝蔵  
仁平征一郎 仁平伝之助  
山崎 文雄 山崎 武雄  
須藤 忠 須藤 忠男  
佐藤 陽子 佐藤 嘉栄  
佐藤 礼子 佐藤 信敏  
鈴木 誠司 鈴木 忠良

### ☆熊倉小学校区

鈴木 聖子 鈴木 衆雄  
池田 美紀 池田 亮一  
芳賀 正美 芳賀 和義  
鈴木美津子 鈴木 伝蔵  
仁平征一郎 仁平伝之助  
山崎 文雄 山崎 武雄  
須藤 忠 須藤 忠男  
佐藤 陽子 佐藤 嘉栄  
佐藤 礼子 佐藤 信敏  
鈴木 誠司 鈴木 忠良

### ☆伯母沢

小松はな子 小松 辰男  
穴沢 稔 穴沢正三郎  
米元 仁 米元 道子  
国分 武夫 国分 熊三

### ☆羽太小学校区

渡辺 典子 渡辺 勝弘  
緑川 順子 緑川 次敏  
鈴木 正昭 鈴木 昭男  
青山 恵子 青山 勝英  
近藤 幸男 近藤伊之吉  
海老名淳子 海老名孝夫  
緑川美重子 緑川 忠夫

### ☆白河第二小学校区

五十嵐千春 五十嵐道清  
益子 晴美 益子 恒夫  
桜井 正 桜井 実  
成井 尚子 成井 澄子  
古川 浩 古川 義二  
石田 勝美 石田 吉昭  
佐川 英雄 佐川 照一  
小林 克巳 小林 玄保  
椋尾 美和 椋尾 光  
高橋三三代 高橋 三郎  
円谷 浩之 円谷 喜義  
増田 明子 増田 正

佐藤美代子 佐藤 善吉  
堀内はるみ 堀内 清水  
栗田 一成 栗田とし子  
森 辰夫 森 靖男  
堀内 宮子 堀内 一松

高田 憲二 高田 義弘  
山本 隆司 山本 洋司  
中村登志子 中村 敏男  
藤沢 晃 藤沢 正文  
猪越 浩一 猪越 佐吉  
藤井 芳一 藤井栄之助

### ☆小田倉小学校区

阿久津雅美 阿久津興一  
宮崎 賢二 宮崎 衛  
小松 睦子 小松 正之  
越前 睦子 越前 六郎  
山県 信子 山県 重信  
金田 義男 金田 繁  
榎 佳代子 榎 武男  
佐藤 忠男 佐藤 忠  
高久 敏明 高久優美男

### ☆米小学校区

相山 史典 相山 潔  
菊地 理幸 菊地 征吉  
片山富士男 片山 昇  
星 裕章 富山 房江

### ●川谷小学校区

白岩真理子 白岩 寛  
白岩利津子 白岩 征治  
鈴木 政雄 鈴木 吉行  
大倉 文子 大倉 和由  
菊地 武春 菊地 吉男

### ●川谷小学校区

以上十二名

真船 和子 真船 正義  
藤井 正二 藤井 忠親  
真船 貢 真船 豊  
真船 浩一 真船 一生  
真船 義高 真船 文雄  
大石 隆幸 大石 重守  
大石 正行 大石 二作

高田 恵子 高田 貞雄  
山本 泰子 山本 清一  
相山 悦子 相山 瑞雄  
安部 正行 安部 正英

### ●小田倉小学校区

以上三十八名

### ●米小学校区

以上六十一名

### ●川谷小学校区

以上十二名

### ●白河第二小学校区

以上十三名

総計百五十四名



# 米の生産調整について

今年も昨年に引き続き、米の生産調整が実施されることになり、本村には、八百五十八トン（一万四千三百俵）、面積にして百九十六ヘクタールの調整目標が配分されましたが、これの達成は容易ならざるものがあります。村では、近日中に説明会を開催して趣旨の徹底をはかる予定ですが、とりあえず、要点をお知らせします。

## 一、調整実施期間

### 村のバレーボール大会

はりきる婦人と青年

二月十一日建国記念の日村の体育協会主催で、バレーボール大会が開催された。西一中では青年の部が、西二中では、既婚婦人の家庭バレーボールの部が行なわれ、次のチームが入賞しました。

### ●青年バレーボールの部

- 一位 原中チーム
- 二位 CLG（高校生）チーム

### ●家庭バレーボールの部

- 一位 役場チーム
- 二位 上黒川チーム

昭和四十六年度から昭和五十年年度までの五ヶ年間とする。

## 二、目標数量の配分

国より県をとおし村に配分され、村は農業者に通ずる。

## 三、米生産調整の実施に当たっての指導方針

水稲から、飼料作物、大豆、果樹、野菜等への転作を奨励する。

## ●奨励金の種類別の内容

### (1) 休耕奨励補助金

単なる休耕の場合  
一キログラム六十八円  
十アール当り約三万円

### (2) 寄託休耕奨励補助金

村、農協等に三年間以上にわたり、原則として一ヘクタール以上に集団化されて寄託されている場合

### (1)の補助金（約三万円）に五千円を加算

### (3) 農地保有合理化法人賃貸奨励補助金

農地保有合理化法人に稲以外の作物を栽培することを条件に貸付けられている場合

### (1)の補助金に五千円を加算

### (4) 普通転作奨励補助金

栽培期間が水稲と重複する稲以外の作物等が、通常の収穫が期待できるような栽培方法で栽培されている場合、または、小麦、ビール麦もしくはなたねが通常の収穫が期待できるように栽培され、かつ表作の稲作が休耕されている場合

### (1)の補助に五千円を加算

(5) 特別転作奨励補助金

(イ) 農業者又は農業者の組織する団体により、五ヘ

クタール以上の規模で経営または農作業が行なわれ、かつ稲以外の作物を栽培している場合

### (ロ) 永年性作物が植付けられている場合、又は当該年度に養魚池もしくは農業生産に必要な施設の敷地に転換した場合

(イ)(ロ)共(1)の補助金に一万円を加算

(註) (1)の計算の基礎となる十アール当り基準収穫量は、昭和四十五年産米に係る農業災害補償法第百九条第一項に規定する基準収穫量による。

## 原中に電話交換所誕生

### 急増する電話需要に対処

#### || 白河電報電話局より ||

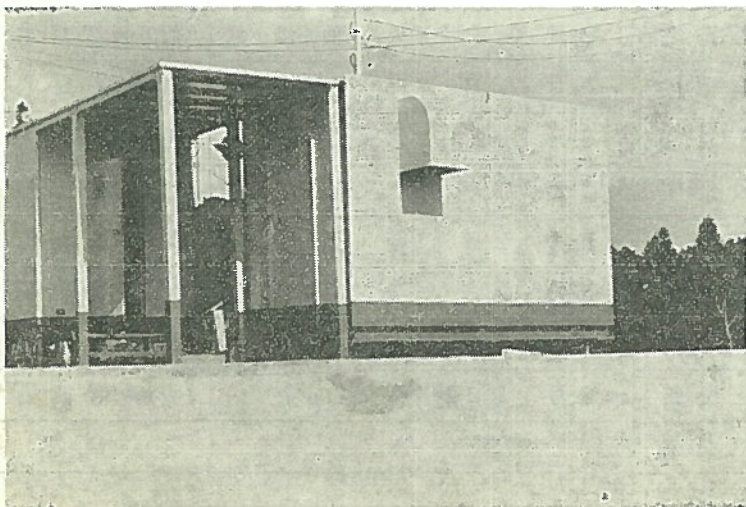
日本電信電話公社では急増する白河地方の電話需要におこたえて、年々新規加入の販売を行なっており、現在白河市および西白河部の電話数は一万一千を越すにいたりました。

このため、交換機等の局内設備や電話線等の局外施設も極度に不足になり、お申し込みをいただいても、なかなかおつけできない地域等も、できてきましたの

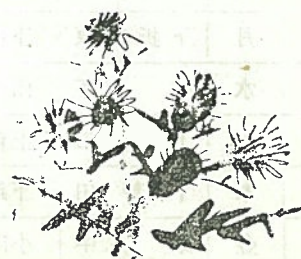
設が大巾に可能になるばかりでなく、一層電話がかかりやすくなり、みなさんのお役にたつようになりま

一時ご不便をおかけしますが、地域発展のため、ご理解とご協力をくださるようお願い申し上げます。

開局にともない小田倉、原中、新田、山下、前山、後原、折口原、黒川方面に現在設置されている電話は地域集団電話を除いて全部新局に収容されますので、市内局番「5」につづいて新しい電話番号に変わります。



原中電話交換所全景



### 所得税の確定申告始まる

〓 白河税務署より 〓

所得税は、一年間の所得と税額とを納税者自身が計算して確定申告をし、納税することをたてまえとしており、その期間は二月十六日から三月十五日までとなっています。商工業、農業などの事業所得者や医師、弁護士などの自由業の人のほか、給与所得者でも、給与以外に五万円以上の所得のある人などは確定申告が必要で、税金の還付を受けることのできる人も、確定申告が必要です。

確定申告書を提出した人は、個人事業税、住民税の申告書を提出する必要はありません。

贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までになっています。

### 青色申告の申請は三月十五日まで

青色申告をする、青色専従者控除など多くの特典があり、税金が軽くなって有利なばかりでなく、経営の合理化にも役立ちます。昭和四十六年分の所得税について青色申告をしようとする人は、三月十五日までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出することになっています。

### 贈与税の申告はお早めに

昨年一年間にもらった土地や家屋、有価証券などの財産の価額が四十万円をこえるときは、贈与税がかかります。また、四十五年中にもらった財産の合計額が四十万円以下でも、同じ人から前年または前々年に二

### 村民税の申告始まる

村民税の申告の受理が、村内各所に出張して行なわれていきます。

事業所、諸官庁等に勤務して、事業主から給与支払報告書を提出している方は申告の必要はありませんが、給与以外に農業その他の所得のある人は申告しなくてはなりません。

印鑑、医療費の領収書（百万円まで控除されます）、生命保険料の領収書、又は保険証書、身体障害者手帳その他参考となる書類を持参して下さい。

当日来られなかった人は次の表により最寄の会場において下さい。時間は、どの会場も午前九時から午後四時までです。



### 村民税申告書受理日程表

申告書受理月日	曜日	部落名	会場	申告書受理月日	曜日	部落名	会場
2月22日	月	米・間原	米小学校	3月6日	土	原中	小田倉小学校
2月23日	火	柏野・赤淵	柏野区長宅	3月8日	月	一の又	一の又分校
2月24日	水	下羽太 中久保	下羽太公民館	3月8日	月	黒川	黒川消防詰所
2月25日	木	上羽太	上羽太区長宅	3月9日	火	芝原	芝原公民館
2月26日	金	虫笠	虫笠区長宅	3月9日	火	伯母沢	伯母沢区長宅
2月26日	金	真名子	真名子総代	3月9日	火	黒森	黒森区長宅
2月26日	金	鶴生	鶴生区長宅	3月10日	水	川谷	川谷婦人ホーム
2月27日	土	真船	真船区長宅	3月11日	木	熊倉	西郷村公民館
2月27日	土	追原	追原公民館	3月12日	金	長坂	長坂公民館
3月1日	月	上折口原	上折口原区長宅	3月12日	金	指定日に申し 告なかった者	西郷村役場
3月1日	月	下折口原	下折口原区長宅	3月13日	土	〃	西郷村役場
3月3日	水	山下	山下公民館	3月15日	月	〃	西郷村役場
3月4日	木	上新田	上新田区長宅				
3月4日	木	下新田	下新田区長宅				
3月5日	金	原中	小田倉小学校				

# 東日本農業青年研修に参加を

## 「磐梯青年の家で開催」

国立磐梯青年の家では、東日本農業青年研修を計画し、次の要領で、参加人員を募集しています。

西郷の青年の皆さん、ふるって参加して下さい。  
ご希望の方は、至急公民館まで、ご連絡下さい。

### 要項

一、趣旨  
それぞれの地域における農業、農村の諸問題をもちより、東日本農業青年の今後のあり方について研究協議し、農業青年としての資質をたかめるとともに青年活動の振興に資する。

- 二、主催 国立磐梯青年の家
- 三、期日 昭和四十六年三月十二日～十五日 三泊四日
- 四、会場 国立磐梯青年の家
- 五、参加対象 東日本農業青年百二十名
- 六、研修内容
  - ・農業近代化をめぐる諸問題
  - ・総合農政からみて
  - ・七十年代に生きる農業青年の姿勢―仲間づくりを進めるために―

・国立磐梯青年の家  
職員  
八、日程  
三月十二日十三時受付  
十五日十二時閉講

九、経費  
(1)参加者負担 食費(千四百四十円)、旅費  
(2)希望者のみ  
記念写真代百円  
記念バッチ代八十円

七、指導講師  
・農林省農業総合研究所長 渡辺 兵力氏  
・山形大学教養部教授 勝又 猛氏

・宮城県農業試験場経営部長 大原 一郎氏  
・福島県原町農業改良普及所長 遠藤 賀身氏  
・福島県農業試験場主任専門研究員 立谷寿雄氏

十、申込方法  
国立磐梯青年の家所長宛 三月五日まで  
申込書様式は公民館にあります。  
先着順に承諾書を送ります。定員〆切  
・携行品その他は公民館へお問い合せ下さい。

## 働きながら学べる

### NHK学園の生徒募集中

働きながら放送を利用して学び、四年間で高校卒業の資格がとれる、通信制NHK学園高等学校の入学願書受け付けが三月一日から始まります。

この高校の特色は次のとおりです。

- ◆NHKのラジオとテレビの「通信高校講座」を視聴しながら自宅で勉強できる。又、レポートを本校に送り、添削指導を受け、全国七十二の協力校で月一回程度のスクーリングを受ける。これに参加できない人のため、合宿スクーリングが行なわれます。
- ◆全国一学区のため、住所が変っても転校がありません。
- ◆四年間の課程を終ると、高校卒業資格(大学入学資格)が得られます。

◆経費は、全部で年額六千六百円です。

### 募集要項

- 一、募集人員 普通科 五千名
- 二、受付期間 三月一日から四月十日
- 三、入学資格 (1)、中学卒業以上の学歴を有する者 (2)、(1)の資格を持たなくても本校の資格認定試験に合格した者
- 四、応募手続 入学案内、入学願書と入寄せ、所定の事項を記入のうえ、東京の本校に送る。
- 五、その他 書類審査によって、合格者には、入学許可書と入学手続書類を送る。

希望される方は、郵送料四十五円切手同封の上、NHK学園高校「生徒募集



係」、または、もよりのNHK放送局までお申し込み下さい。  
NHK郡山放送局  
電話郡山三二一五〇〇  
一丁目二一九

宛先・千一八六  
東京都国立市富士見台  
NHK学園高等学校  
生徒募集係  
電話(〇四二五) 七二一三二一五  
前々号でお知らせした福島中央高校の募集案内と対照してご覧下さい。

## 心身障害者の扶養共済

### 三月まで特別措置

心身障害者をお持ちのご家庭の皆さんには、既に巡回してお知らせしたことがありますが、心身障害者を扶養されている方々が、月々少しずつ掛金を積み立てていくと、万一のとき、後に遺される障害児(者)に、生活のよりどころとして一生毎月二万円円の保険金を受けられる「心身障害者扶養共済制度」が実施されています。

これは、生命保険業界の協力によって、生命保険を有利な形で利用するとともに、全国の障害者を扶養する方々が助け合いの精神で掛金を出し合い、万一不幸にして扶養者に先立たれた障害者の生活を守るための経済的保障を確保しようとするものです。この制度は、基本が生命保険であり、安い掛金で高い保険金が支払われる関係上、死亡率が次第に高くなる四十五才以上の方は、原則として加入できませんが、制度のPRをかねたサービス期間として、この制度が始まってから一年間(昭和四十六年三月三十一日まで)に限り、四十五才以上六十五才未満の方々が、一定の条件で加入できます。

この年令の方で、心身障害のある人を扶養している方は、至急村役場の社会福祉係で、制度の内容をおたしかめの上、希望があれば加入の申込の続ききをとって下さい。四十五才以上の方は、昭和四十六年四月からは加入する資格がなくなります。

# 国民年金は納期限内に完納を

国民年金の保険料を納め忘れてはいけません。もうすぐ拠出制老令(十年)年金の支給が始まります。保険料を納めていないために折角の老令年金が受けられなくなるというよきな事態も生じてきます。

ご承知のように国民年金の保険料は納期限までに必ず納めなければなりません。この保険料を納期限までに納めていないと、けがをしたり、ご主人が亡くなられたときなどに支給される障害年金や母子年金などが受けられないこととなります。事故がおきてからあわてて保険料を納めても間に合いません。

納め忘れの保険料がないかどうかもう一度調べてください。納めたつもりでも納め忘れていたということが案外多いものです。保険料を納めたくとも所得がない方のためには保険料を免除すべし制度もあります。

国民年金の保険料は納めるか、免険を受けるか、どちらかにしておくことが大切です。

## 三月の気象と災害

冬の間続いていた西高東低の気圧配置も、三月の声をきくとくずれだし、日中の気温もどんどん上がって

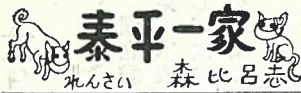
春にはよく大風が吹き、全国主要都市の暴風(平均風速十メートル以上)の平均日数を見ると、三月もし

くるようになります。春の声を呼ぶ平均気温五度の等温線は、暖かい九州の南部では、二月にすでに上陸しています。本州の大半は二月半ばから三月にかけてこの等温線におおわれま

くは四月が多くなっています。なお、東京は四月が多くなっています。十五メートル以上の暴風日数は、逆に三月は二日、四月は一日で、三月が一位となっています。

春の暴風は、一般に低気圧が急速に発達したり、また早い速度で進むことが多いので、大陸方面や日本海西部、東シナ海などに低気圧が発生したときには、気象通報をよく聞いて、その動向に注意を怠らぬようにしてください。

ことしの三月は、移動性の高気圧におおわれ、天候は周期的に変わり、春らしい天気の日が多いみこみですが、後半に入って、北方から冷めた高気圧が南下し、寒の戻りがある見通しで、春の訪れは遅れ気味と予想されています。



# 一月の行事報告

日 曜 1(金) 2(土) 3(日) 4(月) 5(火) 6(水) 7(木) 8(金) 9(土) 10(日) 11(月) 12(火) 13(水) 14(木) 15(金) 16(土) 17(日) 18(月) 19(火) 20(水) 21(木) 22(金) 23(土) 24(日) 25(月) 26(火) 27(水) 28(木) 29(金) 30(土) 31(日)

- 元日
- 御用始
- 消防団出初式、生活改善センター運営打合
- 県単道路改良工事打合
- 定例町村会、選挙管理委員会
- 議会厚生委員会、真船酪農組合総会
- 国道二八九号線陳情のため県庁へ文化財調査委員会
- 法令外負担金寄付金規制委員会成人式
- 防犯連絡所会議、市町村連絡協議会
- 選挙管理委員会
- 奥地産業道路協議会
- 黒川高速道路関連土地改良事業総会
- 広域市町村圏市町村長会議
- 大清水地区圃場整備事業総会
- 臨時市町村連絡協議会
- 国有林活用陳情、農業基本調査説明会
- 公民館運営審議会、遺族会役員会
- 国保運営協議会
- 原中四ツ門線改良工事入札
- 議会庁舎建設特別委員会
- 議長会議
- 赤面山総合開発株式会社設立披露式
- 広域市町村圏整備組合
- 農業改良推進員会研修会、柔剣道大会
- 米地区東北自動車道地権者総会